

議会だより おかがき

No.106 12月定例会 平成28年1月25日発行

福祉の充実拡大へ ● 3

町政を問う ● 6～8



あけまして おめでとろございます



下川路 勲

三浦 進

木原 大輔

太田 強

神崎 宣昭

小野 元次

広渡 輝男

横山 貴子

森山 浩一

西 美千代

平山 正法

曾宮 良壽

市津 広海



岡垣町議会議長
横山 貴子

新年あけましておめでとろございます。

町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、現在、地方自治体は、長引く景気の低迷や少子高齢社会の到来など、さまざまな課題に直面しています。国はこの流れに歯どめをかけるべく、誰もが活躍できる「希望を生み出す強い経済・夢を紡ぐ子育て支援・安心につながる社会保障」の実現に向けた、「二億総活躍社会」を掲げて、新たな3本の矢を放とうとしています。

岡垣町におきましても、岡垣町まち・ひと・しごと創生総合戦略と第5次総合計画後

期基本計画によるまちづくりが始まります。

こうしたさまざまな計画の実施、魅力あるまちづくりを進めていくには、町執行部と互いに知恵を出し合いながら町民参画の町政運営に取り組みなければならぬと考えています。

新たな年を迎え、議会といたしましても、さらにその役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに議会の活性化と改革に取り組み、魅力あるまちづくりに、全力を尽くしてまいる所存です。

本年は申年です。申には「伸びる」「去る」の意味があるとされます。岡垣町が伸びる（発展する）ことで、皆様の暮らしへの不安が去る年となり、新しい年が岡垣町に繁栄をもたらす最良の年になりますようお願いいたします。

どうぞこれからも力強いご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年にあたっての挨拶とさせていただきます。



定例会 概要

福祉の充実拡大へ

社会福祉・児童福祉、交付金事業基金の設置など

1億9千206万3千円の補正予算(第5号)

第4回定例会は12月4日から15日までの会期で開かれ、平成27年度一般会計補正予算(第5号)を含む10議案、発議1件、陳情・請願について審議し議決しました。

提案された主な議案

- ① 岡垣町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例
- ② 岡垣町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ③ 岡垣町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ④ 岡垣町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ⑤ 岡垣町税条例等の一部を改正する条例
- ⑥ 岡垣町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について
- ⑦ 岡垣町特定防衛施設周辺整備調整交付金

主な使いみち

- 子ども医療事業 2158万円
- 自立支援サービス事業 7852万円
- 民間保育所運営委託事業 2009万円
- 財政調整基金等管理事業 2000万円
- 農業用水路整備、維持補修事業 635万円
- 町道改良事業 630万円

全員協議会の主な議題

- ① 第5次総合計画後期基本計画策定の進捗状況
- ② まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の進捗状況
- ③ 連携中枢都市圏形成に向けた協議
- ④ 介護保険制度の改正

一般会計補正予算(第4号)専決処分

○ 岡垣サンリーアイ屋根復旧工事ほか
(台風15号被害による)5608万7千円

一般会計補正予算(第5号)

1億9千206万3千円を増額し、
総額100億2416万7千円に

岡垣町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等 に関する条例の一部を改正する条例

反対

広渡 輝男 議員

本改正条例は議員報酬を4%程度引き上げ、月額で議長1万3千円、副議長、各常任委員長、議運委員長は1万2千円、議員は1万1千円を引き上げるものである。

私は、高齢者の生活の糧である年金は平成27年には実質的に減少、また消費税が8%から10%へ引き上げ、円安への政策誘導で諸物価の高騰、職員給与も給与制度改革で、実質的な引き下げ等々、厳しい町民生活環境の真つただちにある今、現在の待遇を認識し、政治的意志を持って、4月の選挙に立候補し議員として信託を受けており、現在の任期中には引き上げるべきではないと考え反対する。

西 美千代 議員

現状町民の暮らしは、アベノミクスとは言っても、生活に余裕ができた実感はない。消費税は8%になり、今後10%になる予定である。実質物価は上がり、非正規雇用もふえている。そのような状況で、来年4月からの議員報酬の増額に町民の理解が進むとは思えない。

現在の議員は、今の議員報酬であることを承知して立候補し、議員活動を行っている。町長が言われる、若い世代や子育て世帯の人が積極的に議員に立候補し、議員活動を行うことができるよう報酬を増額するという思いは理解できず、今の時期ではないと考え、この議案には反対する。

下川路 勲 議員

私たち議員の報酬の財源は税金であり、その支出は社会情勢に深く鑑み、有権者の賛同を得ることが大前提であるが議員の活動への不満が多く指摘されているのが現状であり、議員報酬引き上げへの理解は望むべくもない。

また、景気の動向は依然として不透明である。さらに、いわゆる団塊の世代の定年退職に伴う年金問題や税収減少、医療費の増加等による財政の逼迫が容易に想像できない。

以上の理由により、議案第59号、岡垣町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例については反対する。

平山 正法 議員

今の社会に目を向けると、アベノミクスの失敗により、景気は悪いまま、国民の所得は減り続けている。社会保障においては、年金や生活保護費の引き下げを行い、国民の生活は苦しい状況が続いている。

議員の職は大変ではあるが、町民の現状を見ると今議員報酬を引き上げる時期ではないと考え、

今後は、若い人が立候補するために、政治に関心を持つ努力をし、開かれた議会にもしなければならぬ。

私を含め全員が、今以上に議員としての自覚と誇りを持って、町民の方に理解していただけるような議員活動をすることを約束して反対する。

賛成

太田 強 議員

平成27年8月に町長からの諮問を受け、町民の代表7名による岡垣町特別職報酬等審議会が増額の答申が出された。

その理由としては、平成17年以来議員の報酬は据え置かれている。議員定数は18人から13人となっている。若い世代や子育て世代の人が立候補しやすい環境整備が必要である。議員活動を支える政務活動費を廃止している。議員一人当たりの人口は、郡内では一番多い。以上である。

報酬等審議会の委員は各界から選ばれた町民の代表であるため、尊重すべきと考えられる。また、私自身も初心に戻って議員活動を積極的に行うことを約束して賛成討論とする。

神崎 宣昭 議員

この議案は岡垣町議会議員の報酬を上げるか否かの採決であり、議員一人一人ではなく岡垣町議会議員全体の価値を問うものである。議員全員が納得いくまで議論を出し尽くし全会一致での採決が望まれる。議員報酬は過去2度にわたって引き下げられ、10年間据え置きの状態である。その間、議員定数が5名削減され、議員の責任が重くなり、報酬を引き上げることが妥当だと考える。

今後、より多くの優秀な人材が立候補したくなる報酬、議員として誇りを持つて活動できる報酬にしていただきたい。賛成討論とする。

森山 浩一 議員

特別職報酬等審議会の答申に若い世代の人が積極的に議員に立候補できるように環境整備が急務と述べられている。議員の中では、若い世代にいます。私は、約8ヶ月間の議員活動を通してさまざまな場面で活動費が必要であることがわかった。本議案の報酬引き上げ額で若い世代の立候補者が増加するとは思われないが、そのきっかけになることは間違いない。

世の中の景気が上向きだという感覚は薄く、このような厳しい状況下において議員報酬を上げるとは、住民の皆様に対しても心苦しく思うが近い将来、一人でも多くの若者に町政へ参加してもらおうために賛成する。

木原 大輔 議員

私は、5月から新人議員となり、その後大きな社会情勢の変化もない現在、議員報酬を引き上げるとは心苦しいところがある。議員報酬を引き上げるとするならば、次回の選挙前に引き上げるべきではないかとも考えた。

しかし、これからの議会には若い世代の力が必要とされ、若くは若い世代の力が低く、若い人が政治に参加できていない現状を何とかしなければならぬ。

これからの議会を担う若い世代が専任で政治に参加できる足がかりとして、議員報酬の引き上げは必要であると考える。賛成する。

三浦 進 議員

今回の条例の一部改正による議員報酬等の引き上げは、町長の諮問により岡垣町特別職報酬等審議会において、慎重に審議されている。

答申では遠賀郡の他の町や県内同規模の町村と比較しても高くはない。平成17年には議員報酬を減額改定し、議員定数も18人から13人に削減している。また、政務活動費も廃止している。

多くの若く優秀な人材が、政治の持つ意義を理解し、かつ将来の岡垣町を見据えて多種多様な政策を提言できるように、議員報酬の引き上げに賛成する。



町政を問う 一般質問

平山

運転免許証自主返納者に対する支援を

町長

実施する予定で検討を進めている



平山 正法 議員

平山 全国的に交通事故の死者、負傷者数ともに高齢者が占める割合が高くなっています。運転免許証を自主返納することで、高齢者ドライバーの事故を未然に防ぐことができます。運転免許証自主返納者に対する補助について、どのように考えていますか。

町長 運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に対して、一定金額のコミュニティバスの回数券、西鉄バスのICカード、タクシー初乗り券のいずれかを1回に限り交付する制度を平成28年度から実施する予定で検討を進めています。

平山 マイナンバー制度が施行され、岡垣町でも通知カ-

ドが届いています。町民からはどうしているのかわからない、不安で仕方がないと言った声が出ています。

町長 町民や法人へ通知カードなどを郵送する際には、制度の概要等のパンフレットを同封するなど、さまざまな手法や機会を通じ、周知に努めているところです。

平山 町民が不在だった場合、1週間郵便局が保管し、1週間たつと通知カードが岡垣町に返戻されます。返戻後



の管理などどのようにしていますか。

町長 町に返戻された通知カードを住民基本台帳で返戻の原因を調査し、総務省が示している事務要領等に沿っ

西

発達障がいへの支援を

町長

関係機関との連携を強化する



西 美千代 議員

ターや関係機関との連携を強化するとともに行政内部の情報共有を図っていきま

西 発達障がいの支援については幼少期から子育てを担う家族への支援が不可欠です。ペアレントメンターによる支援活動について、今後必要性は高まると思われる。研修等の必要性についての考えをお尋ねします。

町長 発達障がいのある児童を持つ親にとって、毎日の子育ては不安や戸惑いも多く、ペアレントメンターの存在は心強いものです。町では、県や関係団体などと連携

町長 児童発達支援事業の定員がふえたことで待機児童が解消され、センター化の効果が発揮されていると考えます。今後、児童発達支援セン

て、適切な処理を行うこととされています。また、返戻された通知カードの管理簿を作成するなど、住民からの問い合わせ等に迅速に対応できるように努めています。



しながら、講座や研修などの周知に努めていきたいと考えています。

西 幼稚園、保育所から小学校に入学するときに、特に成長が気になる子どもの記録をまとめる就学サポートノートがあります。安心できる学校生活のスタートのため、岡垣町での活用状況はどうなっていますか。

教育長 幼児教育から義務教育へ、そして義務教育間の円滑な接続が重要です。新入学児童実態調査票や就学サポートノートを活用し、子どもの特徴や状態、特に配慮すべき事項など、支援に必要な情報を収集し、伝達しています。

広渡

すべての町民の公共交通の確保を

町長

効率的・効果的な手段を検討する



広渡 輝男 議員

では限られた財源の中で、持続可能な公共交通の維持確保に努めていきます。

広渡 第2次公共交通計画の終期を迎えており、地方創生の視点から「まち・ひと・未来」をつなぐ公共交通ネットワークの取り組みをお尋ねします。

町長 人口減少傾向が加速化する中で、重点分野として公共交通機関の利用のしやすさが課題と受け止めて、しっかりと検証を重ね取り組みます。

広渡 JR海老津駅南側の道路及び駅前広場の完了を目前に控え、新たな交通網を前提にした第3次公共交通計画の策定についてお尋ねします。

町長 公共交通の確保を目指して取り組んできましたが、利用者の減少や運行経費が増加傾向にあり、第3次の計画

広渡 岡垣町民のすべての人々に生活行動、社会活動、生きがい活動を支援するには、コミュニティバスの再編と、あわせて交通空白地帯にはデマンド交通システムの導入や福祉タクシーの拡充など、公共交通網の再編が避けられないと思いますが。

町長 平成28年12月完成予定の海老津駅南側広場を含め、



コミュニティバス

駅を拠点とした公共交通網の再編と交通不便地域には地域の実情に合った、最も効率的・効果的な手段を選定・検討していきます。

広渡 郡内の各町でもコミュニティバスなどが運行され

神崎

漁業者の経営安定支援を

町長

引き続き支援を行う



神崎 宣昭 議員

しており、第3次計画では広域連携や運営に向けた考えはありませんか。

町長 遠賀郡を中心とした周辺自治体との広域連携は検討課題として考えています。

考えています。

神崎 波津漁港では、漁業従事者及び漁船が減少しています。今後の漁港の有効利用についてどのように考えていますか。

町長 漁協において空き施設の有効利用のためにプレジャーボートの受け入れについて検討が始められたと聞いています。町といたしましても漁協と十分に協議し、有効利用について検討したいと考えています。

神崎 ボランティア活動支援の現状についてお尋ねします。

町長 ボランティア育成支援



波津漁港

事業補助金を活用した支援などのほか、必要に応じて資機材の貸し出しや原材料支給なども行っています。今後も適切な支援を行い、さまざまな分野で住民がボランティア活動に参加しやすい環境整備に努めていきます。

神崎 ボランティアポイント制度の実施時期と内容をお尋ねします。

町長 平成28年度から介護や福祉分野に先行導入したいと考えています。今後は、課題や問題点の検証を行い、環境や子育て分野など、他分野への拡大を目指す予定です。

○このほか空き家対策について質問しました。

委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

日時
平成27年11月4日～6日
視察先
東京都国分寺市
静岡県藤枝市

視察の目的
・空き家対策
・エコノミックガーデニング

国分寺市の空き家対策は、発生空き家件数が120軒と少ないにもかかわらず、市当局が将来のことを考えて対策を進めていました。

当町でも、早急な取り組みが必要だと感じました。

藤枝市のエコノミックガーデニング（地元の中小企業を成長させることにより地域経済を活性化させる政策）は国の「地方創生」より取り組みが先行し、一歩進んだところで注目されています。
異業種交流・起業・創業等を積極的に支援する市の姿勢がよく見えました。



藤枝市



国分寺市

文教厚生常任委員会

日時
平成27年11月4日～6日
視察先
京都府綾部市
福知山市
兵庫県三田市

視察の目的
・あやべ健康増進・食育計画
・シームレス学園構想
・子育て支援、多世代交流館

当委員会では、教育、福祉、環境をテーマとし、委員会活動を行うとしています。

今回は、健康増進に加え、地域の特産品を生かしながら食育を進めている綾部市での取り組みを、福知山市では幼保から小中学校までの切れ目のない教育環境の取り組みについて学ぶことができました。また、三田市はニュータウン計画で急速に人口が増加した町ですが、現在は少子化傾向にあり、子育てに対する取り組みと、駅前の立地を生かした多世代交流館を見学しました。

今回の視察研修を今後の委員会活動に生かしていきたいと考えています。



三田市



綾部市

議会広報特別委員会

町村議会広報研修会

日時 平成27年10月20日～21日
 場所 砂防会館（東京都千代田区）
 講演内容 伝える広報から伝わる広報へ
 読みたくなる議会だより
 優秀賞受賞紙から学ぶ

平成27年11月25日
 福岡県自治会館（福岡市）
 読者とながる対話型広報へ
 議会広報クリニック

当委員会は町民の皆様様に議会や町政への関心を深めていただけるような、分かりやすい議会広報紙をつくるために、毎年研修会に参加しています。
 昨年は東京都と福岡市で開催された研修会に参加し、各講師が実例を参考に、分か

りやすく、読みやすい広報紙の編集について講演していただきました。
 これらの研修会で学んだことを参考にし、今後の議会広報紙づくりに生かしていきたいと思えます。



砂防会館



福岡県自治会館

遠賀郡町議会議員研修会

日時 平成27年10月28日
 場所 芦屋町民会館
 講演 水素エネルギーの現状と将来展望について
 講師 九州大学主幹教授
 佐々木 一成 氏

水素エネルギーは、再生可能エネルギーと組み合わせれば無資源国の日本にとっては大変有利な、無公害型の安定供給できるエネルギーシステムとなります。
 地球温暖化防止・大気汚染防止の利点もあります。今後一番の問題である低コスト化も徐々に進んでいます。
 講演終了後に水素をエネルギー源として走る燃料電池自動車を見学しました。



講演する佐々木教授



燃料電池自動車MIRAI

議会の動き

9月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
9月19日	総務産業(協)	地方創生懇話会との意見交換会
9月25日	議会広報	議会だより編集
10月 2日	議会広報	議会だより編集
10月 9日	議会広報	議会だより編集
10月20日 ~21日	議会広報	町村議会広報研修会
10月22日	全員協議会	住民懇談会リハーサル
10月26日	総務産業	閉会中の継続調査
10月27日	住民懇談会	・平成26年度決算審議状況 ・議会活動状況 ・意見交換会
10月28日	研 修 会	郡内議員研修会
10月30日	文教厚生	学校視察、給食試食
11月 4日 ~ 6日	文教厚生	行政視察研修 (京都府綾部市・福知山市、 兵庫県三田市)
11月 4日 ~ 6日	総務産業	行政視察研修 (東京都国分寺市・静岡県藤枝市)
11月11日	議会広報(協)	今後の「議会だよりおかがき」 のあり方
11月19日	議会運営	第4回定例会
11月25日	議会広報	町村議会広報研修会
12月 4日	本 会 議	12月定例議会開会 上程・委員会付託
12月 4日	議会広報	議会だより編集
12月 7日	本 会 議	一般質問(4名)
12月 8日	総務産業	付託案件審査
12月 9日	文教厚生	付託案件審査
12月10日	全員協議会	第5次総合計画後期基本計画 策定の進捗状況ほか
12月10日	議会運営	発議について
12月11日	連合審査会	付託案件の審査
12月15日	本 会 議	12月定例議会閉会 議決・発議
12月15日	議会広報	議会だより編集

議会住民懇談会

住民と議会との懇談会を開催しました

岡垣町議会では、住民の皆様には、町政に関する情報提供と皆様のご意見、ご要望を広くお聴きするため、平成27年10月27日午後7時から中央公民館で「住民と議会との懇談会」を開催しました。

懇談会の内容

第一部・平成26年度歳入歳出決算認定の審議概要報告

第二部・意見交換会・懇談会

当日は22人の方々に参加していただき、活発な意見が交わされました。質問や要望等のご意見に対して、しっかりと議会の役割を果たして参ります。

ありがとうございました。



岡垣町の

ここはどこ？

九州鉄道（国鉄の前身）が明治23年（1890年）遠賀川～博多間が開通したとき、ドイツ人技師によりイギリス積み工法で設計・建造されました。

当時は、現在のようなトンネルはなく難所である急勾配の城山峠を越えていました。

九州内では最古級の鉄道遺跡で、平成18年4月に岡垣町の文化財に指定されました。



No.105の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、吉木区にある岡城址でした。

会議録を閲覧してみませんか



◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。

◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。（詳しくは議会事務局まで）

10・11・12月の出来事



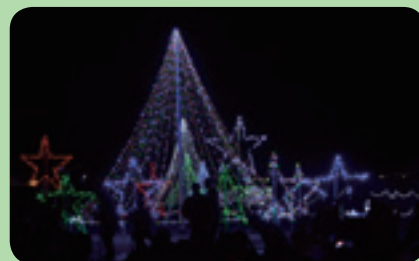
まつり岡垣



焼酎岡垣 芋の収穫



戸切小児童による人権アピール



クリスマスイルミネーション IN 波津海岸

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

3月3日(木)
開会の予定

編集後記

西 美千代

昨年、秋から冬への移り変わりがはつきりしないほど、暖かい日が続いた。電気や灯油代など、財布を預かる身にはありがたいが、これも地球温暖化の影響だろうか。子どもの頃は確かに寒かった。冬休みに入ると必ず雪が降り出し、雪だるまや雪うさぎをつくり、友だちとワイワイ雪合戦を楽しんだものだ。雨の降り方も変わった。100年に一度といわれる豪雨による水害や台風等により家が流され、田んぼが水につかり、壊滅的な被害を受けた地域もある。本年は大きな災害に見舞われませんが、健康でありますように、そして笑って過ごせますように願わずにはいられない。

発行責任者

議長 横山 貴子

議会広報特別委員会

委員長 神崎 宣昭

副委員長 平山 正法

委員 西山 美千代

委員 三浦 進

委員 森山 浩二

委員 木原 大輔